

「ゆめ育」応援団企業に訪問

Q. 二瓶石材さんはどんな会社ですか？

石を扱ったいろいろなお仕事です。お墓をたてたり、リフォームをしたり、石に名前を彫ったりします。記念碑や灯籠を作ることもありますよ！



Q. CSについてどう感じていますか？

自分の子どもが園や学校に通うようになり、また、こども園の運営協議会委員を担当させてもらって、地域のバックアップがよく分かるようになりました。素晴らしい取り組みだと感じています。企業としても、子どもたちとのつながりが出来て、ありがたく思います。協力できることがあれば何でもしたいです。困りごとなど、協力要請をいただければ、さらに動きやすいです。商工会青年部としても、子どもたちや町の皆さんに貢献できることをいつも考えています。新しい事にもチャレンジしていきたいです。

Q. これまでの活動を教えてください！

小1「はたらくじどう車」でユニックを学校に持っていき、実際に重いものを吊り上げる様子を子どもたちに見てもらったり、放課後ほろんクラブの職場訪問で、児童の皆さんに仕事の様子を見てもらったりしました。児童から、「今日学校に車を持ってきてくれた人だ！」と声をかけてもらい、嬉しかったです。地元企業と子どもたちが、顔の見える関係になれば良いなと思っています。

放課後ほろんクラブ

秋だ、なめこだ、なめこ収穫祭！

上士幌町林業グループ「Do' 林夢」(「ゆめ育」応援団) 足立さんを先生に迎え、「なめこの収穫体験・試食」を行いました。

「ゆめ育」応援団の皆さんと、なめこに関するクイズを楽しんだ後、なかよしの森で、足立さんになめこの採り方を教えてもらいました。たくさん秋の恵みに、子どもたちも大興奮！！

後半は、「ゆめ育」応援団の皆さんに調理してもらった「なめこ汁」をみんなで楽しみました。



次回放課後ほろんクラブ クリスマス工作に挑戦！

日時:12月9日(木)
低学年:14時10分~14時50分
高学年:15時~15時40分
講師:森岡庸子さん、川村昌代さん
(「ゆめ育」応援団)
※変更になる場合がございます。

地域と学校の連携推進 協議会(道東)

子どもたちの成長を支えていくために、CSの仕組みを活用し、地域と学校とが相互に連携・協働しながら一体となって「地域学校協働活動」を充実させる方法などについて理解を深めました。講演(オンライントーク)では、高橋克磨社会教育主事が、「上高マッチング」を活用した取り組み事例を発表しました。

12月の主な学校行事(予定)

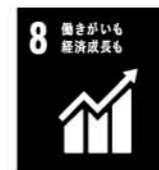
- 12/4 こども園はっぴょうかい
- 12/9 上士幌高校上士幌学発表会
- 12/15 上士幌中学校学年学級懇談会(16日、21日)
- 12/17 かみしほろ学園教育研究大会
- 12/17 こども園終業式
- 12/21 上士幌高校冬季休業開始
- 12/24 上士幌小・中学校終業式

※行事予定は変更の可能性があります。
学校の案内を必ずご確認ください。



上士幌小学校の取り組み

「はたらくじどう車」大集合！ 「ゆめ育」応援団企業×1年生



平成28年度に上士幌町でコミュニティ・スクール(CS)制度が導入され、「ゆめ育」応援団企業による授業が行われるようになって、今年で6年目を迎えました。

この日も、国語の教科書に掲載されている車両を中心に、8台の車が上小駐車場に集合し、地域の先生の説明のもと、はたらく車の「つくり」と「はたらく」を学びました。大きな車両が実際に動く姿を間近で見て、子どもたちも大興奮！町内企業の皆さん、いつもありがとうございます！！それぞれの「はたらくじどう車」にどんな秘密があるのか、ぜひ皆さんも1年生に質問してみてください！



△田中建材さん



△田西建設さん



△上士幌消防署さん



△上士幌駐在所さん



△二瓶石材さん



△宮内電気さん



△矢戸牧場さん

上士幌中学校の取り組み

農業体験学習・大人トーク 西原農場・村上農場×1年生



「農作業体験を通して、勤労の意義を理解するとともに感謝の心を育む」「自分の生まれ育った町の将来や農業についての考えをもつ」ことを目的に、西原農場さんは15年以上にわたり、村上農場さんは今年からお世話になっています。1日目はそれぞれの農場で、「長芋のポール抜き」「ごぼう・人参の収穫」を行いました。効率的な作業の進め方を考えながら、楽しく、真剣に実習に取り組みました。2日目は中学校で、「農業」「働くこと」について学んだ後、対談形式で学びを深めています。

■西原正行さんのおはなし

農業は、いのちを維持するための生命産業だと考えています。人とのつながりを大切にし、自分のやってみたいことを精一杯学び、進んでほしいです。

■村上知之さんのおはなし

作物のもつ力を大事にし、育つ手助けをするのが農業だと思っています。一番良い味の状態を見極め、人とのつながりを大切にしながら仕事をしています。

